

# 老子 輪読会

担 当：原田 勉教授

スケジュール：全8回 2月～3月 毎週月曜日

2/6、13、20、27、3/6、13、20、27

時 間：19:30～21:00

実施方法：Zoomによるオンライン

対 象：関心がある方ならどなたでも

定員・最少催行人数：定員10名 最少催行人数5名

**\*最少数に満たない場合は開催を見送ることがございますので、ご了承ください**

参 加 費：現代経営学研究所賛助会員：8,000円 非会員：16,000円 \*税込み

**\*課題図書はご自身で購入願います。開講確定しましたら早めにご準備ください**

申 込 方 法：

現代経営学研究所WEB掲載の申込事項をメール本文に明示して、件名を「老子 輪読会  
参加希望」として、事務局 (bi@riam.jp)宛てにお申し込みください

申 込 締 切：2023年1月20日(金) **\*定員に達し次第、締め切ります**

課 題 図 書：『老子』(著) 1997年 講談社学術文庫

著 者：金谷 治

内 容 紹 介：

**「戦略」としての「老子」を読み解く**

「老子」といえば無為自然という言葉を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。無為とは何もしないこと、したがって深山幽谷に隠居するようなイメージを持たれているかもしれません。私は長年、老子を研究していますが、これとは180度異なる解釈に導いていただいたのが在野の老子研究者、伊福部先生でした。

「無為」とは「無が為す」と読めば、それは何もしないことではなく、無の働きを意味します。この無の働きに順応した生き方を老子道徳経は説いているのです。

このような観点からすると、「老子」の主張は「戦略」そのものと捉えることができます。戦略としての「老子」を皆さんと読み解き、これが日常業務にどのように役立てられるか議論できればと思います。



お問い合わせ：現代経営学研究所 e-mail: [bi@riam.jp](mailto:bi@riam.jp)

☎ 078-805-1623 (平日10:00～16:00)

\*お問い合わせ・お申し込みいただき、1週間経過しても担当者より返信がない場合は、メール不達の場合がございますので、お手数ですが事務局までお電話ください